

出合いが楽しいイベント出店

神戸・相楽園の「にわのあかり」から京都での「日タイ国際交流フェス」、大阪での「Asia week」など各地でのイベントに出向きました。地元神戸でも「サザンモール六甲」「垂水教会バザー」「くにづかローカル&ワールドフェス」に参加、多くの方に製品を手にとってもらったり、私たちの活動についての話を聞いていただいたりしました。

「しんながた・くにづかローカル&ワールドフェス」(11/13)は長田区の商店街を会場に、さまざまなダンスショー、世界の料理のブースが登場するイベント。当日はお天気にも恵まれ多くの方が来場され大変にぎやかでした。AWEPのブースにもいろいろな方が、「これ素敵」タイのバンナーファンの製品、モン族の古布バッグを手にとった方は迷われつつ一度立ち去られましたが、すぐに戻ってこれ「やっぱり買うわ」と。とても個性的なバッグなので一度目を引かれると忘れられないデザインです。他に「チャリティになるのね」と第三世界ショップのフェアトレードチョコレートを買求める方、「キーホルダーが欲しかったんだよね」とネパールの水牛の骨ストラップをお買い上げくださる年配の男性も。お買い上げいただく方と直接やりとりできるイベント出店は貴重です。(奈良雅美)

夏から秋にかけては沢山のイベントに出店しました。初めての出店も幾つかあり新しい出会いや発見があり有意義な時間を過ごせました。

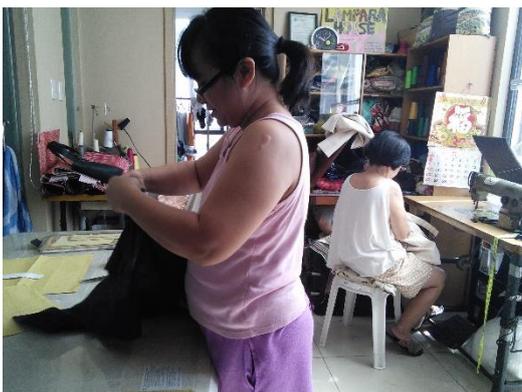
特に印象的なのはスタッフのお嬢さんたちがAWEPのお店をお手伝いしてくれたこと。二人で一生懸命タグを書いたり、会場内を三つ折りパンフや製品を持って歩き回り、宣伝してくれました。カリンバをポロンポロン鳴らしながら宣伝してくれたおかげで1個買って下さる方がいて、二人はそれ以来すっかり「あきんど魂」に目覚めたとか。近々AWEP「あきんどの会」結成予定です！(笑)(村上菜摘)



写真 上・中：サザンモール六甲（かわいい売り子、そらちゃんとはるちゃん） 下：くにづかローカル&ワールドフェス(新長田)

フィリピン国内にも販売を広げて

ランパラハウスは2017年2月で名前を変えて5年になります。もともとはJFC(日本人父とフィリピン人母を持つ子ども)を育てるシングルマザーたちがAWEPの製品を作っていて、マリッサの息子はもう18歳です。今は地域のシングルマザー、テスもメンバーです。製品作りだけでなく、フィリピン国内での販売もマリッサとテスの二人でやっています。人手が足りないときはメンバーを増やしたいと思うのですが思うようにいきません。



AWEP とのお付き合いは長く、AWEP がなければ私たちの活動はなかったと思います。ランパラハウスになった時もいろいろな人から支援をいただいて作業環境もよくなり、フィリピン国内でのネットワークも広がりました。NGO 登録後は国内での販売も可能になり、毎週サンデーマーケットで販売しています。また、日本のJICAやフィリピン政府の協力も得られるようになり、フェアトレードセミナーや貿易セミナーに参加しました。これからも応援よろしくをお願いします。

(フィリピン・ランパラハウス テス&マリッサ)